



Die Eiche

# Die Eiche ティ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町2-518-1 清和会第2ワールドナースングホーム

Tel 047-461-9111 Fax 047-461-7010

## 絆と「私にできること」

千葉県日独協会会長 宗宮 好和

昨年は東日本大震災を機に「絆」の重要性が認識され、誰もが「私にできることは何か」と自問し、何らかの行動を起し、或いは、十分に行動できない歯がゆさを感じました。被災地の皆さんが復興に向けて努力されている新年にあたって、被災された皆さんが一刻も早く安堵と明るい展望が得られるよう願ってやみません。

千葉県日独協会は、ここ数年、新春講演会、総会（および講演会と懇親会）、ドイツ語講習会、ドイツ軍人慰霊祭、クリスマス会など、会員中心の定例行事に加えて、ドイツ大使館、公益財団法人日独協会、ニーダーライン日独協会とのコンタクト、千葉県、習志野市、市川市などの催しの後援あるいは協力、(財)ちば国際コンベンションビューロー、(財)千葉市国際交流協会、船橋市国際交流協会への会員登録など、対外的な関係の広がりを見せています。昨年には、日独友好150周年を記念してドイツ大使館から寄贈された菩提樹の植樹に関連して、新規を含めて13の機関・団体の協力を得ることができました。当協会が仲介した菩提樹30本の今後の成長を見守る義務と楽しみもできました。また近々にはインターネット上に当協会のホームページが開設される予定です。

改めて私たちの千葉県日独協会を考えてみれば、すべての会員の皆さんが「ドイツ」をキーワードにして絆で結ばれています。ドイツに駐在した、留学した、旅行した、友人がいる、ドイツの音楽、文学、美術、映画が好きだ、ドイツ語を話したい、ドイツ人兵士の慰霊、等々、会員各自の思いはさまざまでありましょうが、「ドイツが好き」という点では一致しています。「絆」を体感し確かなものにするには、まずは催しに参加し、他の会員と語ることが大切ではないでしょうか。そして、それが「(いま)私にできること」です。ひいては、日独友好の歴史(過去150年と未来)の一コマに対して、千葉県日独協会として、また会員として、いくらかの貢献をすることができるものと思われまふ…… 多少大袈裟ですが、事実です。

当協会の活動領域が広がるのはそれ自体喜ばしいことです。今年は、改めて、会員相互の絆を深める年になればいいなと願っています。まずは、2月25日(土)に開催される子安美知子先生の新春講演会と懇親会にぜひご参加ください。お待ち申し上げております。

### <御宿植樹祭>

ドイツとの親交の深い御宿町の植樹祭は、御宿町と五倫文庫の主催により、昨年11月17日(木)、快晴に恵まれた御宿小学校の校庭で厳粛かつ盛大に行われた。主催者側は、石田義弘町長はじめ役場の係員、五倫文庫の役員が参加、主賓としてドイツ大使館からクラウド・シュミット文化部長、高野元駐独大使が臨席された。かねてより御宿への研修旅行を企画し、今回菩提樹の日独橋渡し役となった当協会からは宗宮会長、金谷専務理事、國枝、小野寺、伊東、桑原、小野の各氏が出席、宗宮会長が「日独交流150周年」記念植樹祭の意義と記念樹寄贈の経緯について話された。御宿町は当協会会員の五倫文庫理事長・伊藤良昌氏、ハーモニック・ドライブ・システムズ社・会長でフランクフルトのハインリッヒ・ホフマン協会理事・伊藤光昌氏ご兄弟の実家があり、両氏のご尊父伊藤庸二氏が昭和初期に海軍派遣留学生として訪独し、その当時の業績が今日の日独友好関係の礎となっているという歴史がある。一つは、庸二氏がドレスデン工科大学に在学時の恩師バルクハウゼン博士が、後に来日した折、御宿小に月桂樹を植樹しており、今回の菩提樹はそのそばの高台に植えられた。更には、子供の躰け教本として有名なハインリッヒ・ホフマン著の童話絵本「シュトゥルーベルペーター」の日本語タイトルを「ぼうぼうあたま」と名付け、日本語に翻訳、出版した。幼児絵本としては今日でもドイツのみならず世界的に親しまれている。植樹祭でもこれにまつわる話の紹介があり、その後のパーティー会場では「ドイツと御宿」の資料展、「ぼうぼうあたま」の口演披露など、ドイツに縁の深い御宿町に相応しい素晴らしい植樹祭であった。終了後は五倫文庫と最近改装したばかりの総茅葺張りの由緒ある伊藤家に伺い、見学の上接待に預かった。菩提樹幼木の健やかな成育が祈念される。(理事 小野浩記)

(写真は植樹風景-左から2人目に会長、中央にシュミット部長。)



—今後の主な催し物案内—

1. 新春講演会(無料)及び懇親会(有料)

現代ドイツ文学、ドイツ児童文学、とりわけミヒャエル・エンデの作品研究者として著名な子安美智子氏の講演会を下記要領で開催します。

- ・ 日時：2月25日(土)午後4時～5時30分
- ・ 場所：千葉市生涯学習センター(043-207-5811)
- ・ 講師：子安美知子氏(早稲田大学名誉教授)
- ・ 演題：「ミヒャエル・エンデと21世紀  
—今なぜ、あのベストセラー作家?—」

・ 懇親会：終了後講師を囲んで懇親会を行います。

・ 懇親会会費：男性 3,500 円 女性 3,000 円

(詳細別紙、参加申込みは同封のはがきで2月14日(火)迄にお願いします。)

2. 第7回ボトルシップ研究会

日時：2月18日(土)15:30～17:30

場所：船橋市海神公民館 第4集会室

テーマ：2012年の活動について

3. 年次総会・記念講演・懇親会

日時：5月19日(土)14:00～

場所：フローラ西船

詳細は次号。

4. ドイツ旅行勉強会

日時：4月26日(木)、5月10日(木)、5月17日(木)

詳細は次号。旅行参加者以外も大歓迎。

5. 理事会予定

日時：4月20日(金) 18:30～20:30

場所：船橋市東部公民館 (JR津田沼駅北口徒歩5分)

その他：詳細別途連絡。

2011年全国日独協会連合会年次総会参加報告

本来4月に奈良で開催予定の本総会は、東日本大震災の為延期となり、10月21日(金)に場所も横浜で開催された。当会からは宗宮会長以下3名が参加、林横浜市長、Dr.シュミットドイツ大使館文化部長、今回の幹事協会の横浜日独協会早瀬会長の挨拶で開会、議長木村連合会会長代行のもと午前中は議題として沖縄ドイツ協会、いわき日独協会の新規加盟、連合会震災義捐金2,922,851円の釜石市教育委員会に対する一括寄付問題等が審議、承認された。午後は出席26協会より「日独交流150周年」記念行事と災害義援金募金活動を中心に報告があり、当会は宗宮会長より6月の記念講演会と記念菩提樹30本の植樹、それに被害県でもある千葉県への募金活動が報告された。更に夜には会議参加者の懇親会が開催された。

なお、総会にはゲストとしてドイツより独日協会連合会代表並びにこの度東京の公益財団法人日独協会と相互協力覚書を交したベルリン独日協会の正副会長が参加した。ところで、この連合会年次総会は東京と地方で交互に開催され、2009年4月には当会が幹事協会となり会員多数の協力により幕張メッセで開催、2010年は東京、そして2011年この横浜のあと2012年は4月に再び東京で開催される。因みに総会は1協会当たり10,000円の会費で賄われ、懇親会も個人の会費制となっている。(副会長 橋口昭八)

●ボトルシップ研究会あれこれ

ボトルシップ研究会が発足して早や1年半が過ぎました。あつというまに6回の勉強会も終り、参加者の皆さんにはテキスト『ドイツ兵士の見たニッポン』の内容は理解して戴けたかと思ひます。当初は参加者全員の発表を予定しましたが、諸般の事情により特定の人だけで終わったのは少々残念でありました。

テキストを読めば読むほど、「良く研究されているなあ〜、これ以上研究材料はあるのだろうか?」というのが小生の素朴な疑問であり、実感でありました。

毎回、自分なりに今後の研究課題をまとめてみましたが、いまひとつ物足りなさを感じます。

研究会は室内でのテキストや書類研究だけではなく、野外調査も入れました。平成23年5月21日(土)には俘虜が今から95年前に津田沼駅に到着し、習志野俘虜収容所まで行進した道を会員11人で歩きました。

平成24年度は「鳴門市ドイツ館・板東俘虜収容所跡」の研修旅行を実施致します。出来れば中国・青島の日独戦場跡の視察も実施したいと思っています。

今後のテーマとしては、俘虜オーケストラ・合唱団関係者の調査、防衛省・外務省・厚生労働省・法務省・警察大学校等で当時の資料の調査をしたいと思ひます。このためにも、日本国内外から情報収集を容易にするため、千葉県日独協会独自のホームページを一日も早く立ち上げたいと思っています。

(座長 理事 須古正恒)

●クリスマス会

12月20日(火)、八千代台の「洋食亭ブラームス」にてクリスマス会が開催された。宗宮会長はじめ23名の会員が参加。近藤さん、二宮さん、里見さん、小澤さんなど普段あまりお話しする機会がなかった方々も参加され貴重な機会となった。「ブラームス」の名前のように若干ヨーロッパ風な雰囲気の中で美味しい料理やお酒が入るほどに席を替わり談論の輪が広がって行きました。気がつくと閉会時間となっており、名残を惜しみながら家路につきました。(理事 小野寺輝孝)



◎公益財団法人日独協会主催シンポジウムのお知らせ

- ・ 「日独で加速する少子高齢化社会の進行とその対策」
  - ・ 日時：3月8日(木)～3月9日(金)
  - ・ 場所：青山学院大学青山キャンパス(表参道徒歩5分)
  - ・ 問い合わせ：(公財)日独協会、FAX:03-5368-2065
- (「シンポジウムの件」と書きお名前、FAX番号を記入)